

令和7年度 平石中央小学校 学校評価書

1 教育目標（目指す児童像含む）

(1) 基本目標

豊かな人間性と創造力を持ち、自主的精神に満ち、心身共にたくましく、実践力のある児童を育成する。

(2) 具体目標（目指す児童像）

- ・明るく元気できたえる子（鍛える）
- ・おちついてよく考える子（考える）
- ・みんな仲よくきまりを守る子（思いやる）
- ・ねばり強くやりとげる子（実行する）

※ 平央小の合言葉 「なかよく かしこく たくましく」

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「児童が行きたい、保護者が通わせたい、教職員が勤めたい学校づくり」

小規模校ならではの、児童一人一人へのきめ細かな対応を基盤に、児童が生き生きと自分らしさを発揮できる安心・安全な学校、家庭や地域からの信頼をもとにした地域とともにある学校、教職員が専門性を生かし自分の力を十分に発揮できる学校づくりを推進し、学校教育目標の具現化を目指す。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

「小学校学習指導要領」「栃木県教育振興基本計画 2025」「第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画」等に基づき、児童の実態を踏まえ、家庭や地域との協働を進めるなど特色ある教育活動を推進する。

(1)児童が安心して楽しく通える学校づくりを進めるため、互いのよさを認め励まし合う雰囲気醸成するなど、人権尊重の教育を基盤とした安心安全な学校づくりに努める。

(2)明るく元気できたえる子の育成に向け、体力の向上と望ましい食習慣の形成、そして安全教育の充実に努める。

(3)落ち着いてよく考える子の育成に向け、児童の学ぶ意欲の向上を図るとともに、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導の充実に努める。

(4)みんな仲良くきまりを守る子の育成に向け、基本的な生活習慣を身に付ける指導の充実と、豊かな人間関係を築く教育活動の推進に努める。

(5)ねばり強くやりとげる子の育成に向け、児童の自己肯定感を育むとともに、成功体験を繰り返せる環境づくりを推進し、未来を生き抜く力の醸成に努める。

(6)家庭・地域・関係機関と連携、協働を推進し、社会に開かれた教育課程の視点から、地域の教育力を生かした地域とともにある学校づくりに努める。

(7)教職員が高い使命感や、やりがいをもって勤務し、質の高い教育を行うため、業務の効率化を図るとともに、勤務時間の適正化に努める。

○(8)鬼怒地域学校園の教育ビジョンを達成するため、地区内小中学校との情報共有、及び共通実践を通して、小中連携の一層の充実に努める。

【鬼怒地域学校園教育ビジョン】

自分でよく考え 未来に向かって たくましく生きる子供の育成

4 教育課程編成の方針

(1)関係法令、並びに小学校学習指導要領、県や市教育委員会の指導方針、学校経営方針等に基づき、児童や地域の実態を十分に踏まえ、家庭・地域との連携・協働による「社会に開かれた教育課程」を編成する。

(2)個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実に努めるため、学習者主体の学び、他者との協働による学びの充実にに向けた内容にするとともに、体験活動を重視した特色ある教育活動や探究的な学習、教科横断的な学習を実践し、児童の知・徳・体パランスの取れた「生きる力」を育む教育課程を編成する。

(3)鬼怒地域学校園の各校との連携を図り、小中一貫教育の趣旨を踏まえた教育課程を編成する。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

(1) 学校運営
児童が行きたい、保護者が通わせたい、教職員が勤めたい学校づくりを実践するため、学校の組織力を高めるとともに、家庭や地域との連携・協働による特色ある教育活動を展開し、地域とともにある学校づくりを推進する。
○ 児童が安心して通える、魅力あふれる安全な学校づくり
○ 児童の学力向上を目指す学校づくり
○ 児童の自己肯定感を育成する学校づくり
・ P T A や地域協議会との連携強化による、地域学校協働活動のより一層の充実
・ 業務の効率化と勤務時間の適正化等を図るための風通しの良い職場環境づくり
(2) 学習指導
○ 自他のよさを認め合い、思いや願いを大切にできる子どもの育成
(3) 児童生徒指導
○ 夢に向かって、粘り強く取り組む児童の育成
— 家庭と連携し、児童の自己肯定感を育む取組の推進 —
(4) 健康（保健安全・食育）・体力
○ 自らの心身の健康に関心を持ち、進んで健康・安全な生活をしようとする児童の育成
○ 夢に向かって、粘り強く取り組む児童の育成
— 家庭と連携し、児童の自己肯定感を育む取組の推進 —

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標（小・中学校共通、地域学校園共通を含む）

※「主な具体的な取組の方向性」には、A 拡充 B 継続 C 縮小・廃止、を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所には下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
1- (1) 確かな学力を育む教育の推進	A 1 児童は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】 児童の肯定的回答 85%以上	・ねらいを明確にした上で、探究的な学習や体験活動等の多様な学習活動を通して、他者と協働しながら学習に取り組むよう指導する。 ・個別の指導や支援により、分かる授業を展開し、児童の学習意欲を高め、進んで学習に取り組む態度を育てる。		【達成状況】 【次年度の方針】
1- (2) 豊かな心を育む教育の推進	A 2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 児童の肯定的回答 85%以上	・道徳の授業において、多面的な視点から思考を深める議論の場となる授業展開を図る。 ・ファミリー一班活動や学校行事等における異年齢児童との活動の機会の設定、地域の大人との交流などにより、学年・学校を超えた人とのかかわりを深める。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 3 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 児童の肯定的回答 85%以上	・水泳検定、なわとび検定等の教育活動において、目標を達成する学習過程を重視した指導に努める。 ・「宮っ子心の教育表彰」等を活用し、児童の努力や良さを認め励ます教育を推進する。		【達成状況】 【次年度の方針】
1- (3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	A 4 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 児童、教職員、保護者の肯定的回答 85%以上	・定期健康診断や避難訓練、交通安全教室等を計画的に実施するとともに、体験活動を通じた指導を行う。 ・各種便りを定期的に発行し、さくら連絡網や HP を活用して保護者への啓発を図る。 ・歯みがき指導やフッ化物洗口など歯と口の健康づくりに取り組み、習慣化を図る。		【達成状況】 【次年度の方針】

<p>1- (4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進</p>	<p>A 5 児童は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】 児童、教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特別活動やキャリア教育等を通して自分のよさを知り、夢や目標をもって努力し自らの成長を実感できる教育活動に取り組み、振り返りを共有する。 ・一人一人の個性を生かす活動を工夫したり、帰りの会等で個人のよさを認める場面を設けたりして、自己理解やよりよい人間関係づくりを促進し、友達と協力して働こうとする態度を育む。 	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
<p>2- (1) グローバル社会に主体的に向き合い、郷土愛を醸成する教育の推進</p>	<p>A 6 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 児童、教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTと連携し、学年の実態に応じ、外国語活動に取り組むことで、英語に親しみ、積極的に英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 ・ALTとの給食や授業外の交流を通して、学校生活の中で英語を使う機会を設ける。 	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>A 7 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 児童、保護者の肯定的回答 85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活科や社会科、総合的な学習の時間等において、平石地区や宇都宮市を教材とした学習を展開する。 ・宇都宮学などの学習の様子について、学校だよりや学年だよりを活用して発信する。 ・宇都宮の情報を、さくら連絡網等で発信することにより、地域の良さを実感できるような児童や保護者の地域活動を推進する。 	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
<p>2- (2) 情報社会と科学技術の進展に対応した教育の推進</p>	<p>A 8 児童は、デジタル機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 児童、教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発達段階や、各教科等の学習の特色に応じた1人1台端末の効果的な活用を推進し、児童の情報活用能力の育成に努める。 ・情報教育担当や司書、学級担任が連携し、1人1台端末や図書室等を活用した調べ学習や発展学習の充実を図る。 ・図書だよりによる啓発や読書週間における家庭と連携した取組など、学校図書館を核とした読書活動を推進する。 	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
<p>2- (3) 持続可能な社会の実現に向けた担い手を育む教育の推進</p>	<p>A 9 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 児童、教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校農園活動などを通して、児童が自然の豊かさを実感できる教育活動に取り組む。 ・親子除草やクリーン活動・節電スイッチオフ運動・リサイクル活動など、学校内外の環境維持を意識させる教育活動に取り組む。 ・SDGsの内容を読書活動や給食指導に取り入れ、関心をもてるようにする。 	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
<p>3- (1) インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進</p>	<p>A 10 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校内支援委員会やケース会議、児童に関する情報交換会を通し、特別な支援を必要とする児童の情報について共有を図る。 ・児童の活動をしっかりと見取ることで、児童の特性に合わせた適切な支援や指導に生かすようにする。 	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>

<p>3- (2) いじめ・不登校対策の充実</p>	<p>A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 児童、保護者の肯定的回答 85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめゼロ月間やいじめアンケート、道徳の授業の取組を通し、全校体制で様々な機会を捉え、人権の尊重や「いじめは絶対に許されない」ことについて指導する。 ・教職員は児童の様子を観察し、未然にいじめを 방지予防に努める。 	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 児童、教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議での情報交換等で学級の課題を取り上げ職員の共通理解を図るとともに、適宜、ケース会議や不登校対策委員会を開く。 ・友達の良いところを見つける活動等を行うなど、児童の良さや努力などを認める教育を推進する。 	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
<p>3- (3) 外国人児童生徒等への適応支援の充実</p>	<p>A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 児童の肯定的回答 85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの児童が得意なことで活躍できる場面を設定する。 ・結果だけでなく過程（努力や準備）にも目を向け、機会を捉えて適切に児童や保護者に伝えるよう意識する。 ・学校行事など振り返りの時間を設け、できたことについても焦点を当てるようにする。 ・保護者や地域には、学校で生き生きと活動する児童の様子を HP やメール配信、各種便り、回覧板等で積極的に発信する。 	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
<p>3- (4) 多様な教育的ニーズへの対応の強化</p>			
<p>4- (1) 教職員の資質・能力の向上</p>	<p>A14 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 児童の肯定的回答 85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のねらいを明確にし、児童が考えの深まりを実感できるような学習のまとめや振り返りを意識した授業を組み立てる。 ・児童が興味・関心をもって授業に臨めるような課題を設定するとともに、児童一人一人の状況に応じたきめ細かな指導をする。 	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
<p>4- (2) チーム力の向上</p>	<p>A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導、授業資料提供等において、教員同士が十分に連携を図りながら、質の高い教育活動を実践する。 ・管理職のマネジメント力の向上を図ることで学校の組織力を強化し、同僚性を発揮して児童への指導・支援を充実する。 ・職員室前面のホワイトボードの活用やミライム掲示板、打合せ時間の確保など、共通理解を図る環境を整える。 	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
<p>4- (3) 学校における働き方改革の推進</p>	<p>A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校司書業務、ALT、かがやきルーム指導員、学校栄養士業務等が各種教育活動に参画することや、教員業務支援スタッフの有効活用により、教員が児童と向き合う時間を確保するとともに業務の軽減を図る。 ・PC を活用しての会議の効率化や、打合せ・会議の機会精選などの取組により、放課後の教材研究の時間を確保する。 ・学校行事の反省等、教育課程のふりかえりや意見を取りまとめ、職員会議で検討するなど、次年度以降の効率化につながる改善に取り組む。 ・学校徴収金システム、インターネットバンキング等を活用して、出納業務の効率化を図る。 	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>

5- (1) 全市的な学校運営・教育活動の充実	A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 児童、保護者の肯定的回答 85%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育・地域学校園における各部・分科会の計画の進捗状況について情報交換をし、取組について各種便り等で積極的に発信する。 ・鬼怒地域学校園のあいさつ運動や中学生によるボランティア活動を通し、児童・生徒交流を積極的に推進する。 	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
5- (2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進 5- (3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進	A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。 【数値指標】 保護者、地域の肯定的回答 85%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・地域協議会と連携し、地域の方々や保護者との交流を深める教育活動を推進し、より効果的な方法で広く情報を発信する。 ・体験活動を促進することによる教育活動の充実を図るため、学校支援ボランティア等の活用を計画的に実施する。 	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
6- (1) 安全で快適な学校施設整備の推進	A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 保護者、教職員の肯定的回答 85%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の安全点検を確実に実施し、児童や利用者が安全に活用できる環境づくりに取り組む。 ・予算を効果的に活用し、破損箇所の修繕を計画的に行い、安全確保に努める。 ・保護者や利用者へ来校時の注意点の周知、危険個所の表示、AEDの活用、災害時避難方法、危機対応に関する情報を提供する。 	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
6- (2) 学校のデジタル化推進	A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができています。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 85%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年、各教科のデータを共用フォルダに格納し、教職員が共有できるようにする。 ・スクールタクト等を活用し、授業に役立つ動画や課題の共有を行うとともに、児童同士の意見交換や体験活動のまとめなどに1人1台端末を活用する。 	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等	B1 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 児童、保護者の肯定的回答 85%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域と連携し、「平央小よい子の一日」や毎月の生活目標とともに、きまりを守り、さわやかなあいさつができるようにする。 ・あいさつ強化週間の設定・児童会活動の活性化等を図り自発的にあいさつができる環境づくりをする。 	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	B2 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 児童の肯定的回答 85%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や休み時間等の時刻を守るよう全校体制で取り組む。 ・時と場に応じた適切な言動をとれるよう指導する。 ・学級、学校全体できまりやマナーの共通理解を深め、問題行動が発生した際には、全職員が共通認識をもち迅速に対応する。 	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	B3 児童は地域の人や保護者に見守られて安心して登下校している。 【数値指標】 児童、保護者、地域の肯定的回答 85%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校時に教職員や保護者、地域防犯団体が連携して見守りを実施する。 ・下校時の見守り活動の活性化を図るため、地域協議会やエリアサポート平石の協力を得ながら、自治会への協力を要請する。 	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	B4 児童はよく考え、自分の意見を発表している。 【数値指標】 教員、児童の肯定的回答 85%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の目的やねらいを明確にし、児童が見通しをもって意欲的に取り組ませる。 ・児童が必然性を感じるような話合いの場を設定して、個々の考えを深めるようにする。 	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>

	<p>B5 児童は、苦手な食材でも食べようと努力している。</p> <p>【数値指標】 児童の肯定的回答 85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・給食だよりを定期的に発行したり苦手克服メニューを毎月取り入れたりして、食育についての意識を高める。 ・健康的な食事ができない児童に対して個別指導を行う。 ・栄養士や養護教諭の授業への参画を推進する。(学級活動・保健体育・家庭科) 	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
--	--	---	-------------------------------

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。